

「ミニかまくらと教会懇談会」(2025. 3. 16)

主を求めよ、そして生きよ。・・・

すばるとオリオンを造り、闇を朝に変え、昼を暗い夜にし、

海の水を呼び集めて地の面に注がれる方。 その御名は主。 <アモス 5: 6, 8>

2月15、16の両日、教会ミニかまくらキャンドルナイトを実施した。15日は「ビッグ・ウェイブ・ゴスペル・クワイヤ」の湧き上がる讃美で、まさにその名の通り、大きな波が礼拝堂を包み込んだ。ノリノリに踊り、疲れて寝てしまった子供がいたことを後で聞いて、まさにここにゴスペルの魅力が象徴的に現れていると感じた。16日は自由演奏としてN姉が心を込めてオルガンを奏でてくれた。その後飛び入りでギターによる讃美があったり、オルガンに合わせて讃美を共にした。



横手の伝統行事に当教会が協賛するのは、豪雪を祭にする横手の人々の心意気のゆえであり、同時に上掲の御言葉にあるように、雪を与えて命を育むお方の御名を証しするためである。この2日間に多くの参加者を得て、当初の目的は達成されたかと思う。これは多くの方々の協力、特に教会員の献身的な奉仕の賜物である。心より感謝したい。

この大きな行事を終えて、いよいよ次年度の目標などを策定するため、3/9の礼拝後、第2回教会懇談会が開かれた。初めに長老会からは、①新年度の方針について、②かまくらFMの教会CMの継続について、③冬期間における講壇の花について、意見や感想を出し合った。特に、年度目標は「安らぎと祈りのある教会」とした。続いて、教会員からの自由な発案の時をもった。教会前の道路拡幅工事の完成を見据えて、塀、門柱、看板、牧師館フェンス等検討すること。イブ礼拝、ミニかまくらなど、特に平日夜は教会員には負担になっていること。また、コンサート中心を見直し、牧師の話や讃美を多くすることなど、それぞれの思いを共有した。次年度の諸活動で配慮したい。

今年度、横手教会は主からあのことこのこと大きな恵みをたくさん戴いた。この恵みを思い起し、新年度「安らぎと祈りのある教会」を掲げ、歩みたいと思う。